

## 抗精神病薬とはどんな薬？

精神病薬は、精神科でよく使用される薬のひとつです。  
主に次のような症状を和らげる目的で使用されます。

### 📖 主な症状

- 幻覚
- 妄想
- 強い不安
- 興奮

(代表的な疾患として**統合失調症**がありますが、

双極性障害、躁うつ病、の躁状態やうつ病、うつ状態や他の疾患などでも使用されます。)

### 📖 薬の働き

脳内では「神経伝達物質」によって情報のやり取りが行われています。

その一つである**ドーパミン**の働きが過剰になると、幻覚や妄想などの症状が現れると考えられています。

抗精神病薬は、このドーパミンの働きを調整することで症状を落ち着かせます。

### 📖 副作用について

抗精神病薬では、眠気や体のだるさ、体重増加などの副作用がみられることがあります。

現在は副作用に配慮した薬も多く使用されています。

患者さんの症状や体調に合わせて、薬の種類や量を調整しながら治療が行われます。

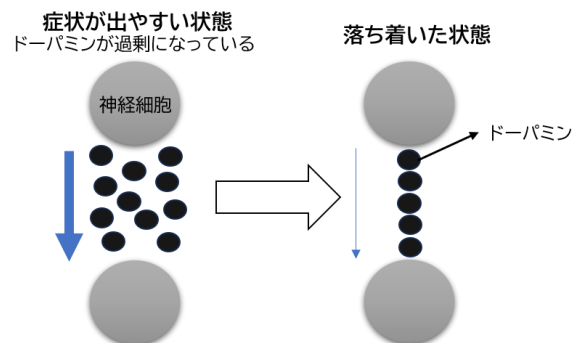
また、**抗精神病薬は依存性が問題になる薬ではありません。**

### 👤 薬剤師より

**薬の効果や副作用には個人差が大きいものが多いです。**

気になる症状や不安なことや疑問があれば、主治医や薬剤師にご相談ください。

### 抗精神病薬の働き (イメージ)



抗精神病薬は、脳内のバランスを整える働きがあります